ワンダフルフォレスト: フィールド

将来の世代のためにやんばるの森を健全に保てるよう、この地域はいくつかのフィールドに分けられています。一部のフィールドでは、ツアーを開催できるガイドの種類（認定または登録）が限られています。

保護フィールド

保護フィールドは、環境保全などの理由により、すべてのガイドの立ち入りが禁止されています。訪れる人もこの指定を尊重し、これらの場所に入らないで下さい。

保護フィールドには以下の場所が含まれます。

タナガーグムイ（安波の滝）

与那覇岳山頂（九合目より上）

限定フィールド

限定フィールドは立ち入り禁止ではないものの、過剰利用や事故、外来種の侵入を含む環境破壊から保護されなくてはならない自然環境的・文化的に重要な地域を擁しています。認定ガイドのみが限定フィールドを案内することができます。ツアーの参加者はガイドの指示にしたがってください。

限定フィールドには以下の場所が含まれます。

安須森御嶽（辺戸岳）

沖縄の7つの聖なる森の中で最も神聖な森が座するこのカルスト地形は、島の北端に位置しています。ここは辺戸の人々にとって非常に大切な場所なので、登る際は必ず認定ガイド同伴でなくてはなりません。

慶佐次湾マングローブ域

マングローブは日本では珍しく、中でも慶佐次湾のマングローブは沖縄最大級です。認定ガイドは、国宝に指定されているこの繊細な生態系を探索できるカヤックツアーを提供しています。

登録フィールド

登録フィールドは、限定フィールドよりもアクセスしやすく自然環境が安定していますが、それでも環境保護が求められており、また安全のための注意が必要です。登録フィールドでは認定ガイドと登録ガイドのどちらもツアー開催が認められています。ぜひツアーのどれかに参加してみてください。

登録フィールドには以下の場所が含まれます。

与那覇岳

与那覇岳はやんばるの最高峰です。ここには地元の動植物が豊富に生息しており、ガイドはトレイルに沿ってこれらを見つけるのを手伝ってくれます。九合目の先の山頂地域は保護フィールドの対象なので立ち入り禁止であることに留意してください。

伊部岳

様々な険しく起伏の多い地形を通して巨大なウラジロガシの木まで続く、難易度が高めの登山コースです。ガイドが深いやんばるの森を案内し、この場所の歴史的な重要性を説明してくれます。トレイルの終端にある木から先の道のない地域はガイド・登山者ともに立ち入り禁止なので注意してください。

ター滝

オープンフィールドにある比地大滝とは異なり、高さ10メートルのター滝に続く川沿いの道は、整備されておらずでこぼこしています。途中とところどころで川の中を歩かなくてはならないので、このルートは子どもや適切な装備を着用していない人にはおすすりできません。

オープンフィールド

オープンフィールドは整備されたトレイルがあり、特に制限が設けられていないけれどやんばるの森を存分に体験できる地域を含んでいます。もちろん、私有地は立ち入り禁止です。森の魅力を満喫するのを現地ガイドがお手伝いします。

オープンフィールドで人気のある場所には以下が含まれます。

比地大滝

落差 26 メートルの比地大滝はやんばる国立公園最大の滝です。よく整備された遊歩道を利用し、休憩を挟んで約90分で滝まで行って帰ってくることができます。また、キャンプ台も利用できます。

国頭村森林公園

やんばるの森のおもちゃ美術館、散策路、キャンプ場、バンガロー、森と東シナ海のパノラマの景色を望む展望台がある国頭森林公園では気軽に森林の環境を体験できます。この公園は、地元の住民と家族客のお気に入りの行楽地です。